

ごみ減量 結果発表

環境衛生課 (Tel.64-1521)

有明ひまわりセンターの建設費負担割合

みやま市 柳川市

26.4% : 73.6%

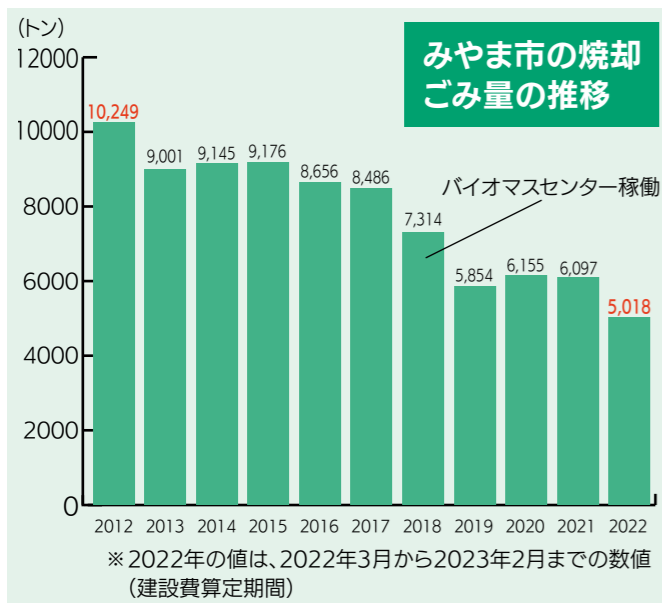
当初計画での割合 = 26.6% : 73.4%

■算定期間中(2022年3月~2023年2月)の焼却ごみ量



ご協力ありがとうございました!

みやま市と柳川市が共同で建設した有明ひまわりセンターの建設費は約121億円。そのうち国の補助金などを除いた約85億円の負担割合は、両市の1年間の焼却ごみの量で決定することになっていました。その算定期間が今年2月で終了し、みやま市は当初の目標より780トンのごみの減量を達成。建設費の負担割合は、みやま市が26.4%、柳川市が73.6%となりました。



10年で50%以上の削減に成功

みやま市の燃やすごみの量は、2012年は10,249トンでしたが、2022年は5,018トンで、10年で半減したことになります。全国に誇れるこの素晴らしい取り組みにご協力いただいた市民の皆さま、本当にありがとうございました。

ごみを減らして施設の長寿命化を

ごみの量を減らすことが、施設への負担を軽減し維持管理費の抑制につながります。建設費負担割合の算定期間は終了しても、維持管理費の負担割合は両市の燃やすごみの量で決まります。

子や孫へ美しく豊かなみやま市を残すためにも、引き続きごみの削減にご協力をお願いします。

リサイクルでこれだけの燃やすごみを削減 2022年3月~2023年2月

紙おむつ分別



211トン

生ごみ分別



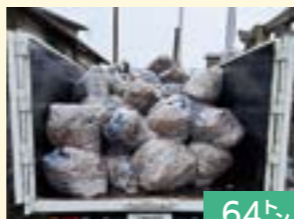
1,827トン

たからばこ



80トン

草の資源化事業



64トン

モデル事業で行っていた草の資源化は、2023年4月から正式事業としています。

動物保健衛生所ってどんなところ？

企画振興課 ワンヘルス総合推進室 (Tel.88-9754)

動物保健衛生所が設置されます

福岡県より、保健医療経営大学跡地に整備されるワンヘルスセンターに、全国初の「動物保健衛生所」が設置されます。現在、筑後市にある筑後家畜保健衛生所を移転し、対象動物を拡大して動物保健衛生所とするもので、本年3月に基本構想を策定し、令和9年度中に開設される予定です。

家畜保健衛生所ってなにをやるの？

家畜保健衛生所は、畜産農家を対象に、家畜の病気の予防や検査、衛生的な飼育管理を指導するほか、安全な畜産物(肉、卵、牛乳、はちみつ)の生産などを指導しています。県内には4か所(中央、北部、両筑、筑後)あり、本市を含む筑後地域は、筑後家畜保健衛生所が管轄しています。



動物保健衛生所ではなにをやるの？

対象となる動物は、大きく4つに分類されます。牛、豚、鶏などの家畜、ペットとして飼われているイヌやネコなどの愛玩動物、動物園で飼育されている展示動物、イノシシやシカなどの野生動物です。



人と動物の健康、環境の健全性を一体的に守るワンヘルスの考え方を実践するためには、全ての動物の保健衛生を監視することが重要です。



現在、家畜については家畜保健衛生所が病気の発生状況を把握していますが、愛玩・展示動物、野生動物では十分に把握できていません。そこで、動物保健衛生所では、全ての動物の病気の調査・研究に取り組むほか、保健環境研究所などの関係機関と連携し、ワンヘルスを推進していきます。



動物保健衛生所のイメージ



ワンヘルスフォーラムを開催します

日時：5月14日(日) 午前10時から午後4時
場所：総合市民センター「MIYAMAX」
詳細はチラシまたは市ホームページをご覧ください。

※入場無料

基調講演

日本医師会名誉会長 横倉 義武氏

スペシャルトークショー

ゲスト：藤田朋子さん(女優)

みやまワンヘルス学校

学校とコラボした大人も子どもも気軽に学べる授業です。

その他ステージイベント、マルシェ、キッチンカーなど楽しいイベントがいっぱい!

動物保健衛生所基本構想
(福岡県ホームページ)

